

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		耐震耐火に優れた建築構造の施設であるが、いざという時にどの職員も冷静沈着な行動が取れるように未実施である夜間帯の職員体制での避難誘導訓練を消防署の立会の下で、実施し、専門的立場からのアドバイスを受け職員間で周知し、災害時の入居者の安全に繋げることを願いたい。	夜間想定における防災訓練を実施していく。	年2回防災訓練を行い、その際に1回目、2回目と分けて、通常時間以外における夜間想定を実施する。具体的には下記取り組みを行う。 ①一回目の防災訓練時(5月予定)において職員に夜間を想定した訓練内容を案内・理解をさせる。 ②2回目に夜勤者に一部防災訓練を単独実施をさせる。	12ヶ月
2		耐震耐火に優れた建築構造の施設であるが、いざという時にどの職員も冷静沈着な行動が取れるように未実施である夜間帯の職員体制での避難誘導訓練を消防署の立会の下で、実施し、専門的立場からのアドバイスを受け職員間で周知し、災害時の入居者の安全に繋げることを願いたい。	消防署の立会いでの防災訓練を実施していく。	年2回の防災訓練があるので、一度は来ていただき消火器や必要な情報提供を依頼する。 但し、コロナの兼ね合いにより難しい場合は消防署でのパンフレットや情報提供ツールにて職員の理解度を高めることをしていく。	6ヶ月
3		耐震耐火に優れた建築構造の施設であるが、いざという時にどの職員も冷静沈着な行動が取れるように未実施である夜間帯の職員体制での避難誘導訓練を消防署の立会の下で、実施し、専門的立場からのアドバイスを受け職員間で周知し、災害時の入居者の安全に繋げることを願いたい。	地域との防災状況の把握に努める	地域の消防訓練等参加や今後自施設ににおける消防訓練の同席を依頼していく。 まずは、地域の防災訓練の日程を把握して一部の職員の参加、その後参加者を増やし事業所におけるイベントの一貫としてとして対応できるように努める。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。